



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 「榎本氏の再就職活動」

「海外で活躍できる仕事をしたい」と考えていた榎本氏が、商社を中心に就職活動を実施したのは、1983年夏のことである。そして1999年冬、榎本氏は再び就職活動を行っていた。

5

## 榎本氏の職務経験

10

大学で経済学を専攻した榎本氏は、学生の頃から語学に興味があり、英語やスペイン語も自分で勉強していた。内定をもらった企業の中で一番気に入ったA社に入社したのは、1984年4月のことである。

榎本氏は産業機械を扱う部門に配属になった。この部門は建設機械や様々な車両機械を主に東南アジアや中南米に輸出する業務を担当しており、榎本氏は希望通り海外営業や貿易業務の仕事につくことができた。入社2年目には、1年間海外研修生としてスペインに在住し、入社7年目にはスペインの現地法人へも1年ほど駐在してた。その後、商品の船積みから入金までの一連の受渡し業務などの仕事に4年程従事した。この間、通関士の資格も取得した。

産業機械や建設機械の輸出に関わる一通りの業務経験を習得し、中堅社員として活躍していた1996年4月、榎本氏は突然調査部門に異動することになった。榎本氏はこの異動に対して次のように語った。

15

「何故、異動になったのかはよく分かりません。私に営業としての適性がないという上司の判断

20

---

本ケースは慶應義塾大学大学院経営管理研究科の渡辺直登教授の指導の下、博士課程の坂爪洋美が作成した。尚、ケース上の個人名に関する若干の事実は偽装されている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> 慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 渡辺直登、坂爪洋美 (2000年作成)